S-Stage KIT（８８ｃｃ）取扱説明書

このキットはノーマルのシリンダーヘッドを使用し、８８ｃｃにボアアップ出来るキットです。シリンダーはセラミックメッキシリンダーを採用。ピストンにはＭｏ（モリブデン）コートを施しています。
また、オイル取り出しが可能なボスが付いており、シリンダーのオイルラインよりオイルの取り出しが可能です。

商品番号　０１－０５－５０１４
スーパーカブ５０（ＦＩ）：ＡＡ０１－１７０００01～
リトルカブ（ＦＩ）　　　：ＡＡ０１－４００００01～

・このたびは、弊社商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

おことわり

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

⚠ 使用燃料についてのご注意 ⚠

ＳステージＫＩＴは、ノーマルに比べて高圧縮比となるように設定しておりますので、燃料は必ずハイオクタン価ガソリンを使用して下さい。レギュラーガソリンを使用すると、異常燃焼を起こして本来の性能を発揮しない上に、ピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。ＫＩＴ取り付け前に燃料タンクに残っていたガソリンにも注意して下さい。レギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

⚠ スパークプラグについてのご注意 ⚠

スパークプラグは必ずＣＲ８ＨＳＡ（ＮＧＫ）または、Ｕ２４ＦＳＲ－Ｕ（ＤＥＮＳＯ）に交換して下さい。

⚠ 急発進・急加速についてのご注意 ⚠

空ぶかし、急加速、急激なエンジンブレーキはエンジンに高負荷がかかります。最悪の場合はクランクシャフトが破損し、エンジンを壊してしまう恐れがありますのでご注意下さい。

⚠ Ｆ．Ｉ．コントローラーについての注意 ⚠

Ｓ－Ｓｔａｇｅ　ｋｉｔのみで使用されますとエンジンが重大な故障を起こす可能性があります。必ずＦ．Ｉ．コントローラーをご使用下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
◎この製品を取り付け、原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり、運転者ご本人が罰せられる対象となります。一般公道を走行される場合は、小型２輪以上の免許を取得し、必ず市町村の役所もしくは市税事務所で原付２種への変更（注：登録手順は各市町村により異なり、当説明書が必要な場合があります。）を行い、道路運送車両法の保安基準を充たし、強制賠償保険等の排気量変更の申請を行って下さい。
◎この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
◎商品を加工等された場合や取り付けされた場合は、保証の対象にはなりません。
◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
◎取り付けの際には、工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。
◎ボルト、ナット、ノックピンは再使用しますが、摩耗、損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。
◎この取扱説明書に記載の作業はカブの車両を主体としております。
◎燃料は必ず無鉛ハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。

⚠ 注意　この表示を無視した取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害の発生が想定される内容を示しています。

・一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。（法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。）
・作業を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行って下さい。（火傷の原因となります。）
・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）
・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。（部品の脱落の原因となります。）
　※シリンダーヘッドは、必ず指定トルクで増し締めを行って下さい。
・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

⚠ 警告　この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡したり、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

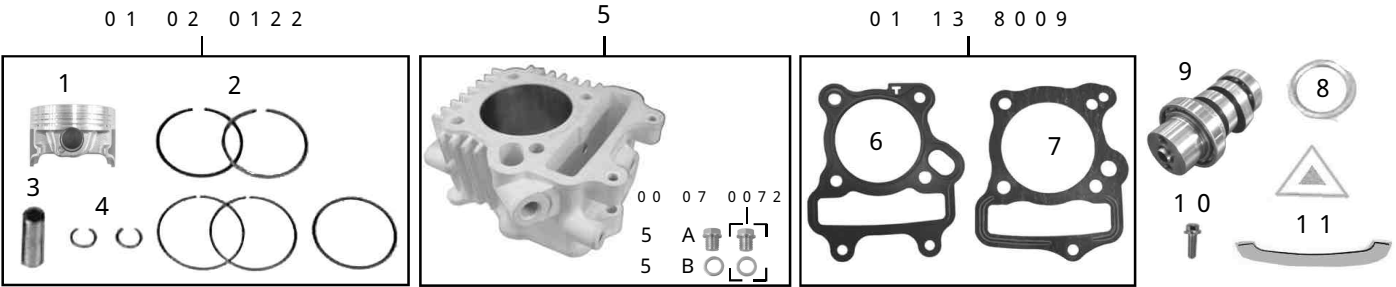
・エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
・作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）
・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。

Jan./27/ 11

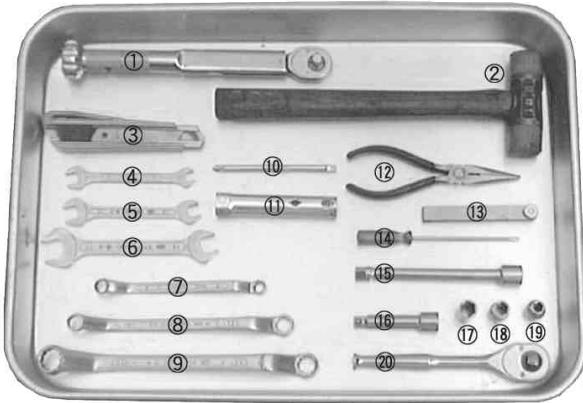
◎性能、デザイン、価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。
◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は、交換させて頂きます。正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。
◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいますよう、お願い致します。

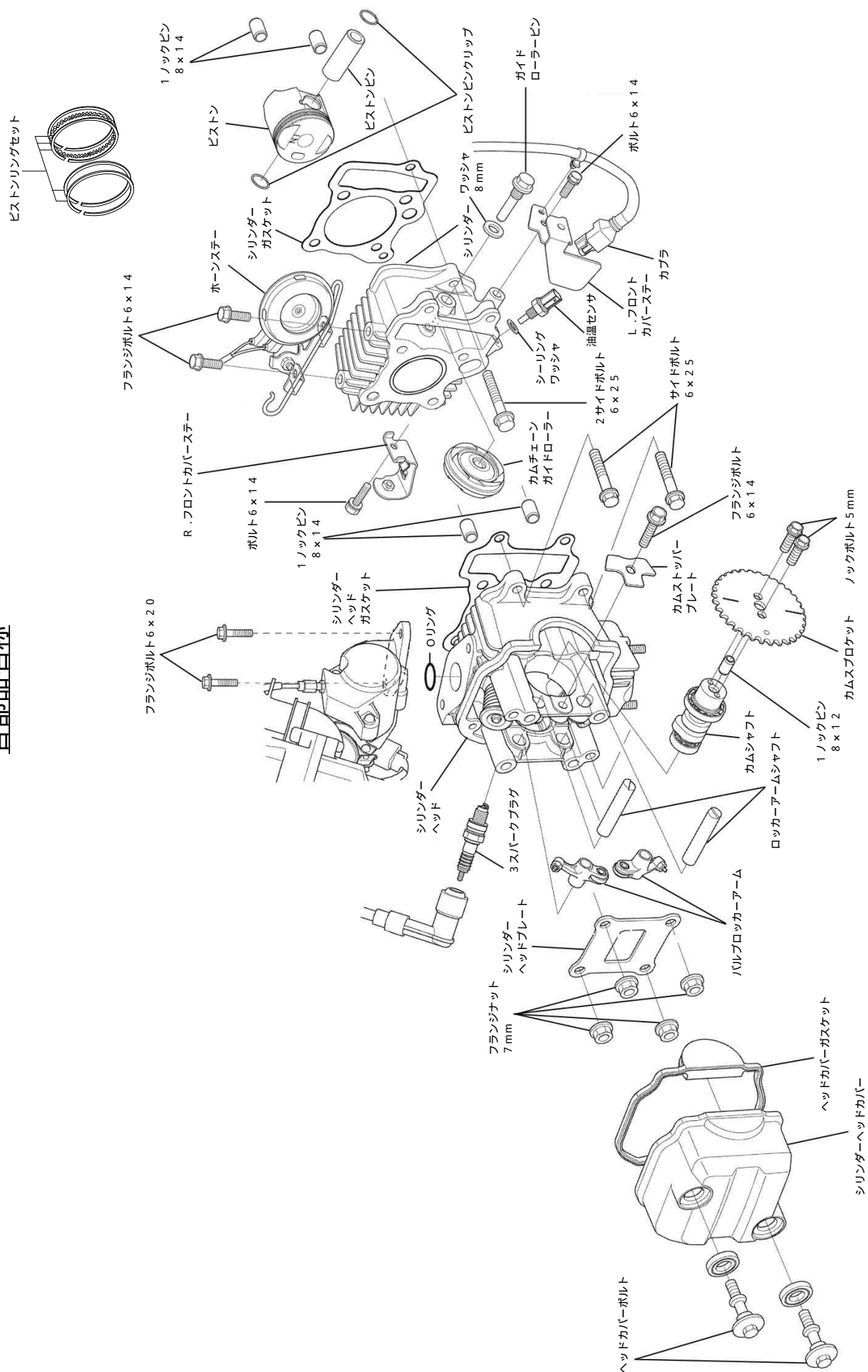
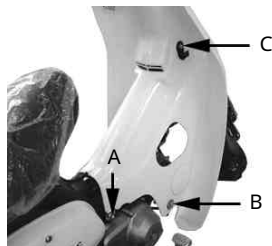
Lesson

◇ボルトとナットは反時計方向へ回すと緩み、時計方向へ回すと締まる。
◇ネジを締める場合は最初から工具を使用せず指で締まるところまで締めましょう。１～２回転でとまる場合は、ネジが斜めに入っている場合がありますので注意して下さい。
◇ネジを緩めるということは、締まっている状態から左へ３～４回転回すことをいい、取り外すということは左へネジが取れるまで回すことをいう。
◇ネジを締めるということは、ネジが緩まないようにする事を締めるといいます。その目安をボルトごとに折れない・緩まない数値で表したのが締め付けトルクです。この説明書ではＰＬ法(製造物責任法)によりトルクを記載していますが、トルクレンチを用意することの出来ない人は折れない・緩まない力で締められるのであれば試してみて下さい。但し、当社では責任は負いません。トルクレンチが無くてもどれぐらいの力で締めると折れるのか・緩むのかは自分自身の経験と勘でしか補えません。
◇工具を正しく使用しない場合、ボルト・ネジ等のかかり部分が破損する場合があります。

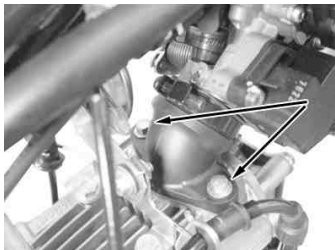
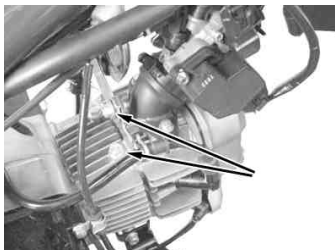
◇キット内容

番号	部　品　名	個数	リペア品番	入数
１	ピストン（Ｍｏコーティング）	１	１３１０１－ＧＢＪ－Ｔ００	１
２	ピストンリング	１	１３０１１－１８１－Ｔ１０	１
３	ピストンピン	１	１３１１１－ＧＥＦ－Ｔ０１	１
４	ピストンピンサークリップ	２	００－０１－０００３	６
５	シリンダーＡＳＳＹ．	１	１２１００－ＧＢＪ－Ｔ０１	１
５－Ａ	オイルプラグボルト	２	９０１４５－ＧＥＹ－Ｔ００	１
５－Ｂ	シーリングワッシャ　１０mm	２	００－０７－００１０	１０
６	シリンダーヘッドガスケット	１	０１－１３－８００９	１set
７	シリンダーガスケット	１		
８	エキゾーストパイプガスケット	１	００－０１－００６４	２
９	カムシャフト	１	０１－０８－０３３２	１
１０	フランジボルト　６×２５	１	００－００－０１１５	５
１１	原付２種マークセット	１	――――――――	

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。
あらかじめご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。

◇取り付けに使用する工具等

１	トルクレンチ	１１	プラグレンチ（車載工具）
２	プラスチックハンマー	１２	ラジオペンチ
３	カッターナイフ	１３	シックネスゲージ
４	スパナ　８－１０	１４	マイナスドライバー（極細先）
５	スパナ　１２－１４	１５	ジョイント（中）
６	スパナ　１４－１７	１６	ジョイント（小）
７	メガネレンチ　８－１０	１７	ボックスレンチ　１４mm
８	メガネレンチ　１２－１４	１８	ボックスレンチ　１２mm
９	メガネレンチ　１４－１７	１９	ボックスレンチ　１０mm
１０	プラグレンチハンドル（車載工具）	２０	ラチェットレンチ

各部品名称

ご注意下さい。
※２　このキットでは使用しません。
付属している部品をご使用下さい。
※３　ＣＲ８ＨＳＡ（ＮＧＫ）又はＵ２４ＦＳＲ－Ｕ
（ＤＥＮＳＯ）に必ず交換して下さい。

A（１２mmふくろナット）、B、C（１０mmボルト）を反時計回りに回して外し、ワッシャ等も同時に取り外します。
左側も同様に外します。
使用工具
A：１２mmボックスレンチ
　　　　　　　　　　&中ロングジョイント
B：１０mmボックスレンチ
　　　　　　　　　　&中ロングジョイント
C：１０mmボックスレンチ

ＳＴＤ部品取り外し

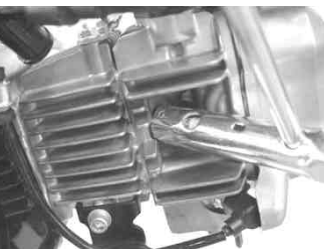
１．インレットパイプを取り外す

◇シリンダーヘッドとインレットパイプを止めているボルト２本を反時計方向に回し取り外す。
使用工具
８mmメガネレンチ

◇ホーンステーを取り外す。
使用工具
１０mmメガネレンチ

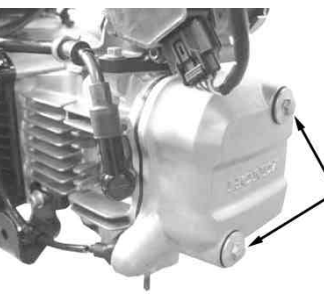
２．マフラーを取り外す

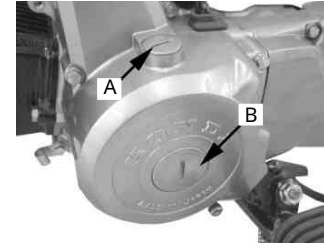
◇ＥＸパイプ部のナット２個を反時計方向に回し取り外す。
使用工具
１０mmスパナレンチ

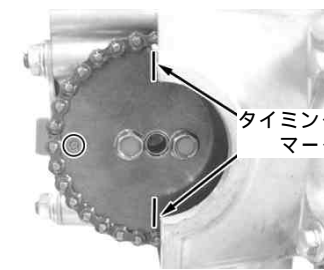
◇マフラー本体を止めている６角ボルトを反時計方向に回し取り外す。
使用工具
１４mmメガネレンチ
リトルカブ
１７mmメガネレンチ

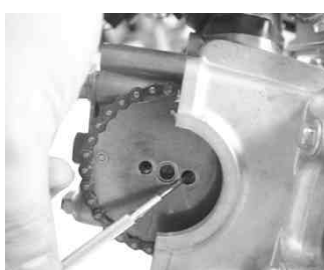
◇マフラーを外側に引く様にして車体から取り外す。このとき、リング状のマフラーガスケットを無くさないように注意する。

３．スパークプラグを取り外す

◇プラグキャップをプラグから引っ張って取り外す。必ずキャップ部分をつかんで引っ張って外す事。
◇車載工具のプラグレンチを使いプラグを反時計方向に回し取り外す。

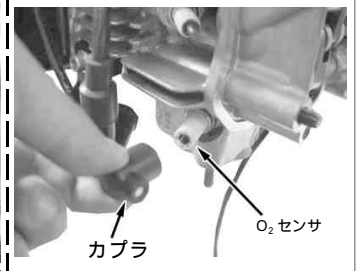
４．シリンダーヘッド左カバーを取り外す

◇シリンダーヘッドカバーの６角ボルトを外し、カバーを外す。
使用工具
１０mmボックスレンチ

５．クランクケース左カバー取り外す

◇A、Bの２つを反時計回りに回して外します。
使用工具
マイナスドライバー

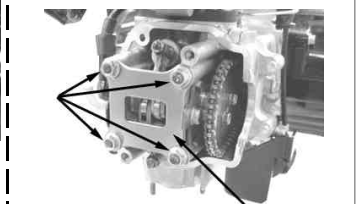
６．カムスプロケットを取り外す

◇フライホイールのＴマークとカムスプロケットのＯマークを前方に向け、タイミングマークをシリンダーヘッド側面に合わせ、各切り欠きに合う様にフライホイールを反時計方向に回転させて合わせる。

◇フライホイールを固定しカムスプロケット６角ボルト２個を反時計方向に回し取り外す。
使用工具
８mmメガネレンチ
１４mmボックスレンチ＆中ロングジョイント
（フライホイール固定用）

◇カムスプロケットを小型のマイナスドライバー等でこじてカムシャフトから外す。
◇カムチェーンをカムスプロケットから外してカムスプロケットを取り出す。
◇カムシャフトの中心部にはまっているノックピンを外す。

７．シリンダーヘッドサイドボルトを取り外す

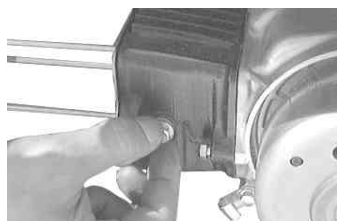
◇シリンダーヘッドとシリンダーを止めているシリンダーヘッドサイドボルトを反時計方向に回し取り外す。
使用工具
８mmメガネレンチ

◇O_2 センサのカプラを取り外す。

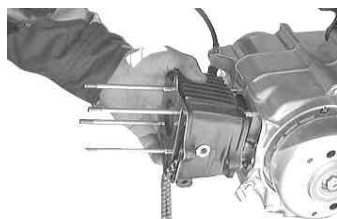
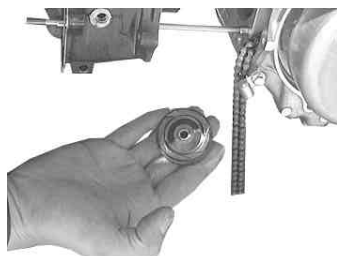
◇シリンダーのガイドローラーボルトとシリンダーとクランクケース間のサイドボルトを反時計方向に回し緩める。
使用工具
８mmスパナレンチ＆１０mmメガネレンチ

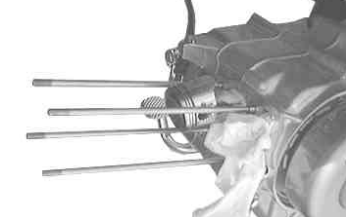
８．プレートを取り外す

◇シリンダーヘッドカバーを止めているナット４個を対角に数回に分けて反時計方向へ回し取り外す。
◇シリンダーヘッドプレートを取り外す。
使用工具
１０mmメガネレンチ

９．シリンダーヘッドを取り外す

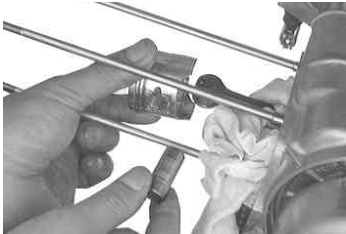
◇シリンダーヘッドをシリンダーから前方へ引っ張って取り外す。（かたい場合はシリンダーヘッドをプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す）
◇ノックピン２個は再使用するので取り外しておく。

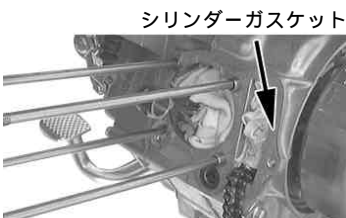
１０．シリンダーを取り外す

◇緩めておいたガイドローラーボルトとシリンダーサイドボルトを反時計方向に回し取り外す。

◇油温センサのカプラを外し、油温センサを取り外す。
使用工具
１７mmスパナレンチ

◇シリンダーを引っ張って取り外す。（かたい場合はプラスチックハンマーでシリンダーを軽くたたき、取り外す）

◇シリンダーを抜く途中でカムチェーンガイドローラーが出てくるので取り外す。

１１．ピストンを取り外す

◇クランクケースのシリンダーホールとカムチェーン部にゴミや部品などを絶対落とさないようにウエスを詰め込む。

◇ピストンピンサークリップの片側を取り外す。
ピストンピン穴の切り欠き部を利用してこじるようにすると外れます。
使用工具
先の細いマイナスドライバー

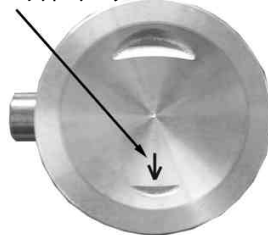
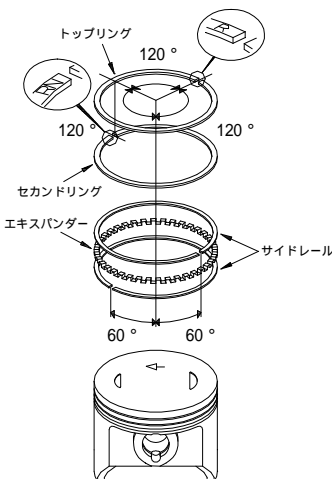
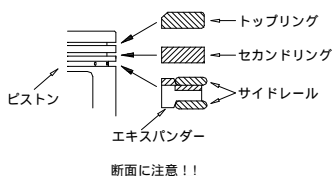
◇ピストンピンをピストンピンサークリップが付いていない方向へ取り外す。ピストンピンサークリップの付いている方向からマイナスドライバーで押してあげると簡単にとれる。

◇ピストンを取り外す。

１２．シリンダーガスケット・ラバーパッキン・ノックピンを取り外す

◇ガスケットがきれいにはがれない場合クランクケースにキズを入れないようにスクレイパーやカッターできれいにはがす。この時クランクケースセンターガスケットがシリンダーベース面にはみ出ている場合は切り取っておく。

⚠ クランクケース内にゴミや部品などを絶対落とさないように。

Ｓ－ＳｔａｇｅＫＩＴ 取り付け

１．ピストンを組み付ける

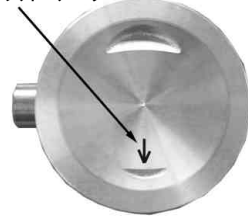
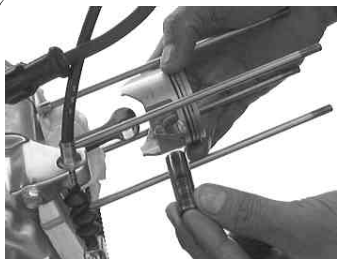
◇ピストンの片側に付属のピストンピンサークリップをサークリップ溝にきっちりはめ込む。
この時、サークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付ける。

◇ドライバーでピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けられます。
◇ピストンサークリップは左側を先にはめ込みます。
使用工具
先の細いマイナスドライバー
◇ピストンリング溝にエンジンオイルを塗りピストンリングをオイルリングエキスパンダー、下オイルリングサイドレール、上オイルリングサイドレール、セカンドリング、トップリングの順に取り付ける。
◇ピストンリングの合い口を合わせる。

トップリングの上面にはＲの刻印セカンドリングの上面にはＲＮの刻印があります。

◇オイルリングエキスパンダーを入れる。

◇下オイルリングサイドレールを入れる。

◇上オイルリングサイドレールを入れる。

◇セカンドリングを入れる。

◇トップリングを入れる。

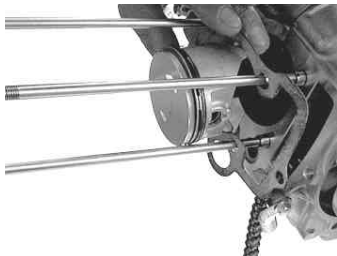
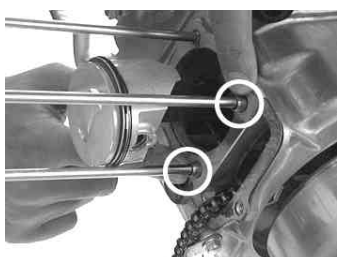
◇コンロッドのピストンピン部にオイルを塗る。

◇ピストンヘッド部矢印マークの先を下（エキゾースト側）になるようにしてピストンを取り付ける。

◇コンロッドとピストンにピストンピンを通す。
◇付属のピストンピンサークリップをサークリップ溝にきっちりはめ込む。

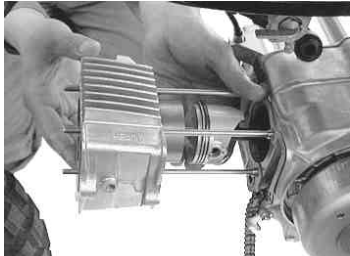
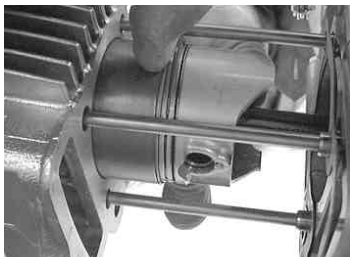
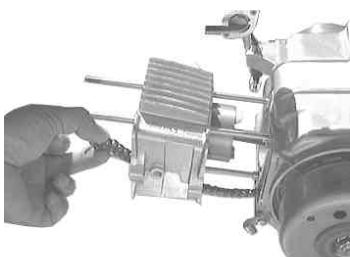
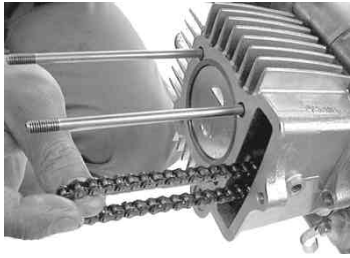
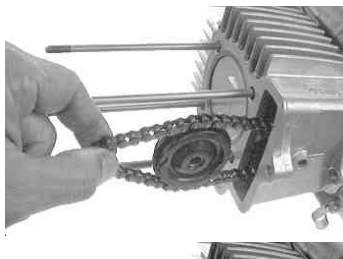
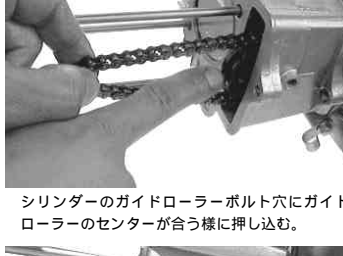
◇ドライバーでピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付ける。
サークリップの合い口は、切り欠き部を避けて取り付けてる。押し込み中にサークリップが外れて飛んでしまうことがあるので慎重に行う。

⚠目に入らぬように防護めがねなどを着用して下さい。

◇作業が完成すれば、詰めていたウエスを取り外す。

2．シリンダーの取り付け

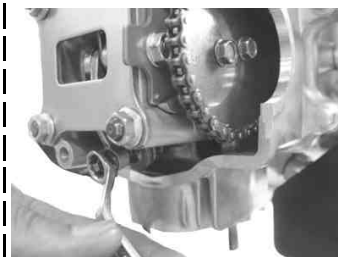
◇シリンダーガスケット面のシリンダー側とクランクケース側をシンナー等で脱脂する。

◇シリンダーガスケットを取り付ける。

◇ノックピンが付いているか確認する。

◇キットのシリンダー内にエンジンオイルを塗布し指で均等に塗り広げる。

◇シリンダーを入れていく。

◇シリンダーをピストンリングの合い口がずれない様にしながら指で押し少しずつはめる。

◇リングがシリンダーに入ったらカムチェーンをシリンダーに通しシリンダーをクランクケースにはめる。

◇カムチェーンを引っ張りながらガイドローラーを付ける。

◇シリンダーのガイドローラーボルト穴にガイドローラーのセンターが合う様に押し込む。

◇ガイドローラーボルトを取り付ける。
（指で締まる程度まで仮止め）

◇キット付属のフランジボルトＭ６×２５を取り付ける。
（指で締まる程度まで仮止め）

◇油温センサを取り付け､規定トルクで締め付ける。
作業が完成すれば、カプラを取り付ける。
使用工具
１７mmスパナレンチ

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
Ｔ＝１４.５Ｎ・ｍ（１.５ｋｇｆ・ｍ）

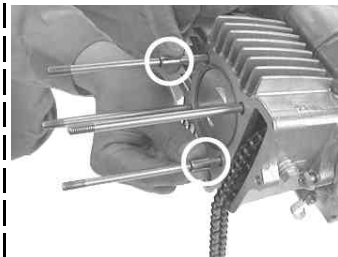
3．カムシャフト交換

◇シリンダーヘッドに組み込まれているロッカーアームのタペットアジャスティングナットを緩め、タペットアジャスティングスクリューを反時計回りに回してタペットアジャスティングナットとタペットアジャスティングスクリューを一緒に外す。
使用工具
９mmメガネレンチ

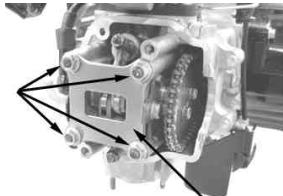
◇ストッパープレートを取り外す。

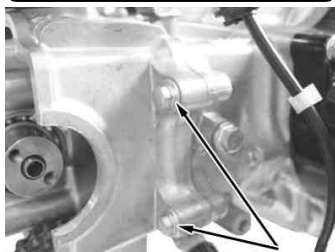
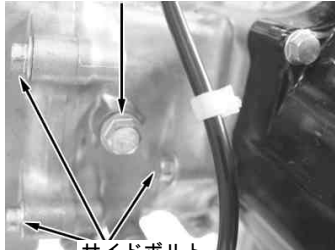
◇ノーマルのカムシャフトを外し、キット内のカムシャフトを取り外しと逆の手順で取り付ける。
カムシャフト・カムシャフトベアリングにきれいなエンジンオイルを塗布する。入りにくくてもハンマー等でたたかず手で入れる。
◇ノーマルカムに付いていたノックピンをキットのカムに取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ストッパープレートボルト
Ｔ＝１２Ｎ・ｍ（１.２ｋｇｆ・ｍ）

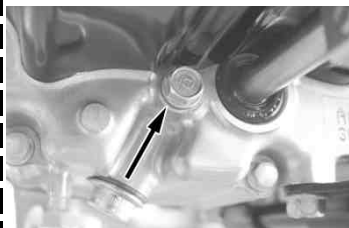
4．シリンダーヘッド取り付け

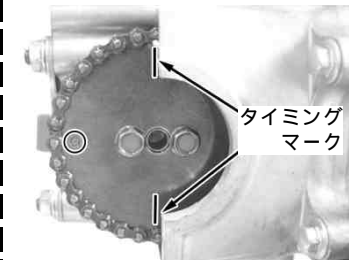
◇シリンダーヘッド面とシリンダー上面をシンナー等で脱脂する。

◇シリンダーにノックピンを取り付けヘッドガスケットを取り付ける。

◇シリンダーヘッドをカムチェーンとスタッドボルトを通しながら取り付ける。

◇シリンダーヘッドプレートを組み付け、ヘッドナットを均等に締め付ける。
（トルクレンチがない場合は対角に少しずつしっかり締める）
使用工具
１０mmメガネレンチ

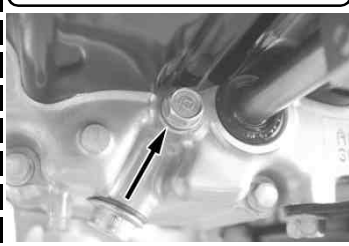
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
Ｔ＝１４Ｎ・ｍ（１.４ｋｇｆ・ｍ）

◇ヘッドサイドボルトを取り付ける。先に仮止めしていたガイドローラーボルトとシリンダーサイドボルトを締め付ける。
使用工具
８mmスパナレンチ
１０mmメガネレンチ

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ガイドローラーボルト
Ｔ＝１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）
サイドボルト上下
Ｔ＝１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）

５．カムスプロケットの取り付け

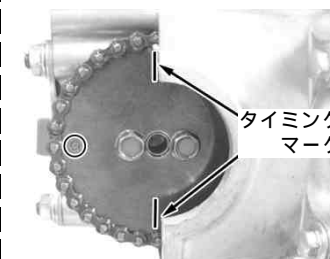
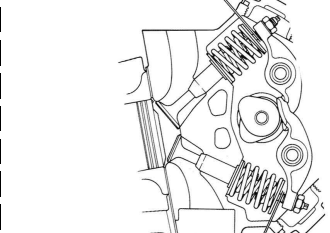
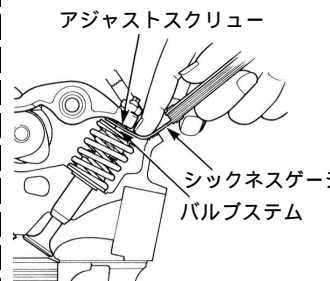
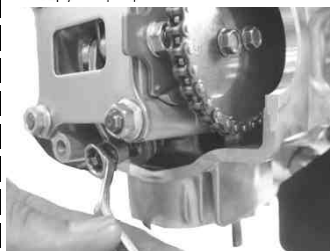
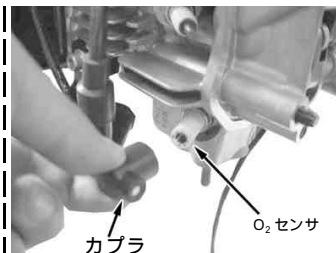
◇フライホイールのＴマークをクランクケースの切り欠き部に合わせる。
◇カムスプロケットボルト穴をシリンダーヘッドの切り欠き方向に向けたときカム山がピストン側を向く様にかむシャフトをセットする。それがカムシャフトの圧縮上死点です。

少しオイルが出てきますので締めた後は拭き取って下さい。

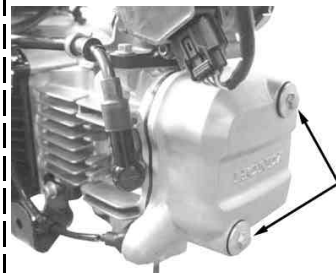
◇チェンジペダルシャフトの横にある６角ボルトを取り外す。(カムチェーンテンショナーが緩むのでカムチェーンをはめ易くなります。

◇カムスプロケットの‘Ｏ’マークを前方方向に向け、タイミングマークをシリンダーヘッド側面に合わせ、各切り欠き部が合う様にカムチェーンをかけ、カムシャフトに取り付ける。

◇フライホイールを固定してカムスプロケットボルトを２本締め付ける。
使用工具
８mmメガネレンチ
１４mmボックスレンチ＆中ロングジョイント

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
Ｔ＝９Ｎ・ｍ（０.９ｋｇｆ・ｍ）

◇チェンジペダルシャフトの横に先程外したボルトを取り付け、締め付ける。
使用工具
１０mmボックスレンチ＆中ロングジョイント
１０mmスパナレンチ

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
Ｔ＝１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）

６．バルブタイミング調整とタペット隙間の調整

◇カムシャフトのＯマークを前方に向け、タイミングマークをシリンダーヘッド側面に合わせ、各切り欠きに合う様にして止める。磁石の反発でフライホイールはピッタリと止まらないがカムスプロケットとフライホイールが同時に合えばＯＫ。

◇ロッカーアームのタペットアジャスティングスクリューを締め込んでいきタペットアジャスティングスクリューとバルブステムエンドの間にシックネスゲージを入れて少し抵抗があるくらいで引き抜ける様に合わせてタペットアジャスティングナットを締め付ける。
ＩＮ側　０.１０mm
ＥＸ側　０.１２mm
使用工具
ラジオペンチ、９mmメガネレンチ
シックネスゲージ
１４mmボックスレンチ＆中ロングジョイントでクランクを合わせる。
◇タペット調整後、反時計方向にフライホイールを２回転で回した後でＴマークとＯマークタイミングマークを合わせる。
◇タペットすき間が変化していないか点検し、すき間が合っていればＯＫ、くるっている場合は調整する。この作業を合うまで繰り返して下さい。

◇O_2 センサのカプラを取り付ける。

７．シリンダーヘッドカバー取り付け

◇シリンダーヘッドカバーとガスケットを取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
Ｔ＝１２Ｎ・ｍ（１.２ｋｇｆ・ｍ）

８．スパークプラグの取り付け

◇車載工具かプラグレンチを使いプラグを取り付ける。
使用工具　プラグレンチ

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
Ｔ＝１６Ｎ・ｍ（１.６ｋｇｆ・ｍ）

◇プラグキャップをプラグに取り付ける。

９．ノーマルマフラーの取り付け

◇マフラーをブレーキペダルとステップの間に通し、フランジ部をシリンダーヘッドの排気出口付近まで持っていく。
◇マフラーガスケットをシリンダーヘッドとマフラーの間に挟み込む様に入れる。マフラー本体をピボットシャフトに取り付ける。マフラー本体を止めるナットを締める。(指で締まる程度に仮止め)

◇ＥＸパイプ部のナット２個を締める。（仮止め）
使用工具　１０mmスパナレンチ

◇フランジ部と車体を止めるナットを締め付ける。
使用工具
１４mmメガネレンチ
リトルカブ　１７mmメガネレンチ

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
フランジ部
Ｔ＝１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）
本体部
Ｔ＝３６Ｎ・ｍ（３.５ｋｇｆ・ｍ）

◇仮止めの三カ所を締め付ける。

１０．インレットパイプの取り付け

◇シリンダーヘッドとインレットパイプを止めているボルト２本を取り付ける。
使用工具　８mmメガネレンチ

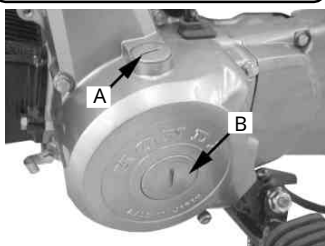
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
Ｔ＝１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）

◇ホーンステーを取り付ける。
使用工具　１０mmメガネレンチ

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
Ｔ＝１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）

１１．ホールキャップの取り付け

◇クランクケース左カバーを止めているボルト３本を取り付ける。
使用工具
８mmボックスレンチ＆ショートジョイント

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
Ｔ＝１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）

◇A、Bの２つを取り付け、締め付けます。
使用工具
マイナスドライバー

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
Ａ：Ｔ＝１.５Ｎ・ｍ
（０.１５ｋｇｆ・ｍ）
Ｂ：Ｔ＝３Ｎ・ｍ（０.３ｋｇｆ・ｍ）

◇チェンジペダルを取り付ける。
使用工具　１０mmメガネレンチ

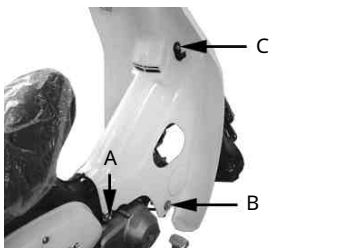
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
Ｔ＝１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）

◇エンジンやマフラー、インレットパイプ等、今まで付けたボルト類に緩みが無いか確認する。

１２．ＦＩコントローラーの取り付け

◇ＦＩコントローラーの取り付け要領に従い、コントローラーを取り付ける。

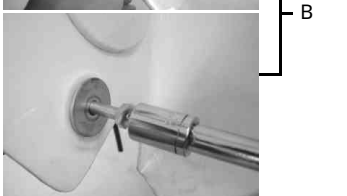
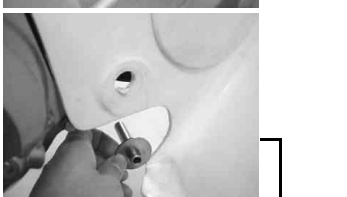
１３．レッグシールドの取り付け

◇レッグシールドの後部からフレームに当て、それから前部をはめていく。

A部に１２mmのふくろナットをレッグシールドとの間にプレートを挟んで締め付る。B部に１０mmの長ボルトをレッグシールドの裏にスペーサーを挟んで締め付ける。C部に１０mmのボルトをワッシャを挟んで締め付ける。左側も同様に取り付ける。
使用工具
A：１２mmボックスレンチ＆中ロングジョイント
B：１０mmボックスレンチ＆中ロングジョイント
C：１０mmボックスレンチ

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
Ａ　：Ｔ＝２０Ｎ・ｍ（２.０ｋｇｆ・ｍ）
Ｂ、Ｃ：Ｔ＝１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）

A

B

C

●ご走行前に

１　お願い

◇一般公道を走行される場合は小型２輪以上の免許を取得し、市町村の役所もしくは市税事務所で原付２種への変更(注:登録手順は各市町村により異なる恐れがあります)を行い、道路運送車両法の保安基準を充たし、強制賠償保険及び任意保険の排気量変更の申請を行って下さい。
※原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり運転者ご本人が罰せられる対象となります。

◇キット内の原付２種マークをお貼り下さい。

２　使用燃料について

◇燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。

◇燃料タンクにレギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

３　取り付け必要品として

◇本キットを取り付け走行する際には以下の部品が取り付け必要です。取り付けていない場合、保証の対象にはなりません。

３－１　オイルポンプ

出力アップに伴い、エンジン発熱量も増大します。大量のオイルを循環し各部の冷却や負担を軽減するスーパーオイルポンプの装着は必要です。

必須スーパーオイルポンプ

品番:０１－１６－００５１

３－２　クラッチ

ノーマルクラッチでは十分な対応が出来ず、滑りが生じエンジン出力をドライブ側に十分伝えることが出来ません。強化クラッチの装着は必要となります。

品番:０２－０１－０２１５　強化遠心クラッチキット

４　スプロケットの変更

◇このキットを取り付けると出力がアップし、ノーマルのスプロケットのままではローギアすぎて扱いにくい状態になります。また、各部の磨耗が激しくなり、エンジン寿命に悪影響 を及ぼすだけでなく最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあるために必ずドライブ／ドリブンスプロケットを変更し、スプロケットのハイギヤー化を各自で行って下さい。
※スプロケットはキット内に含まれておりません。
※スプロケットはクラッチ形式やホイールサイズにより変わります。下の表を参考にして下さい。また、体重や使用用途、好みによるものもありますので参考程度でお考え下さい。
※ドリブンスプロケットを変更する時はリアホイール周りを取り外します。レーシングスタンド等で車両を確実に支え、リアホイールを浮かせて作業を行って下さい。

Ｓ－ステージ　推奨スプロケット（体重６５ｋｇ時）

車種	仕様			推奨スプロケット	
	リアホイールサイズ	クラッチ	トランスミッション	ドライブスプロケット（フロント）	ドリブンスプロケット（リア）
スーパーカブ５０	１７インチ	遠心	３速	１６	３５
リトルカブ	１４インチ	遠心	３速	１６	３５

◇ノーマルのスプロケットから推奨スプロケットに変更すると調整だけではドライブチェーンのたるみを無くすことが出来ない、またはリンク数が足りなくなる場合があります。チェーンカッター等を使用してチェーンを短くする必要や、新たにドライブチェーンを用意する必要があります。

●Ｆ.Ｉ.コントローラーについて

必ずＦ.Ｉ.コントローラーを取り付けてからエンジンを始動して下さい。Ｆ.Ｉ.コントローラーを取り付けずに使用されますと空燃比が非常に薄くなりエンジンが重大な故障を起こす恐れがあります。

品番:０３－０５－００１９

株式会社 SPECIAL PARTS 武川
〒５８４－００６９ 大阪府富田林市錦織東三丁目５番１６号
TEL ０７２１－２５－１３５７　FAX ０７２１－２４－５０５９
お問い合わせ専用ダイヤル　０７２１－２５－８８５７
URL　http://www.takegawa.co.jp